

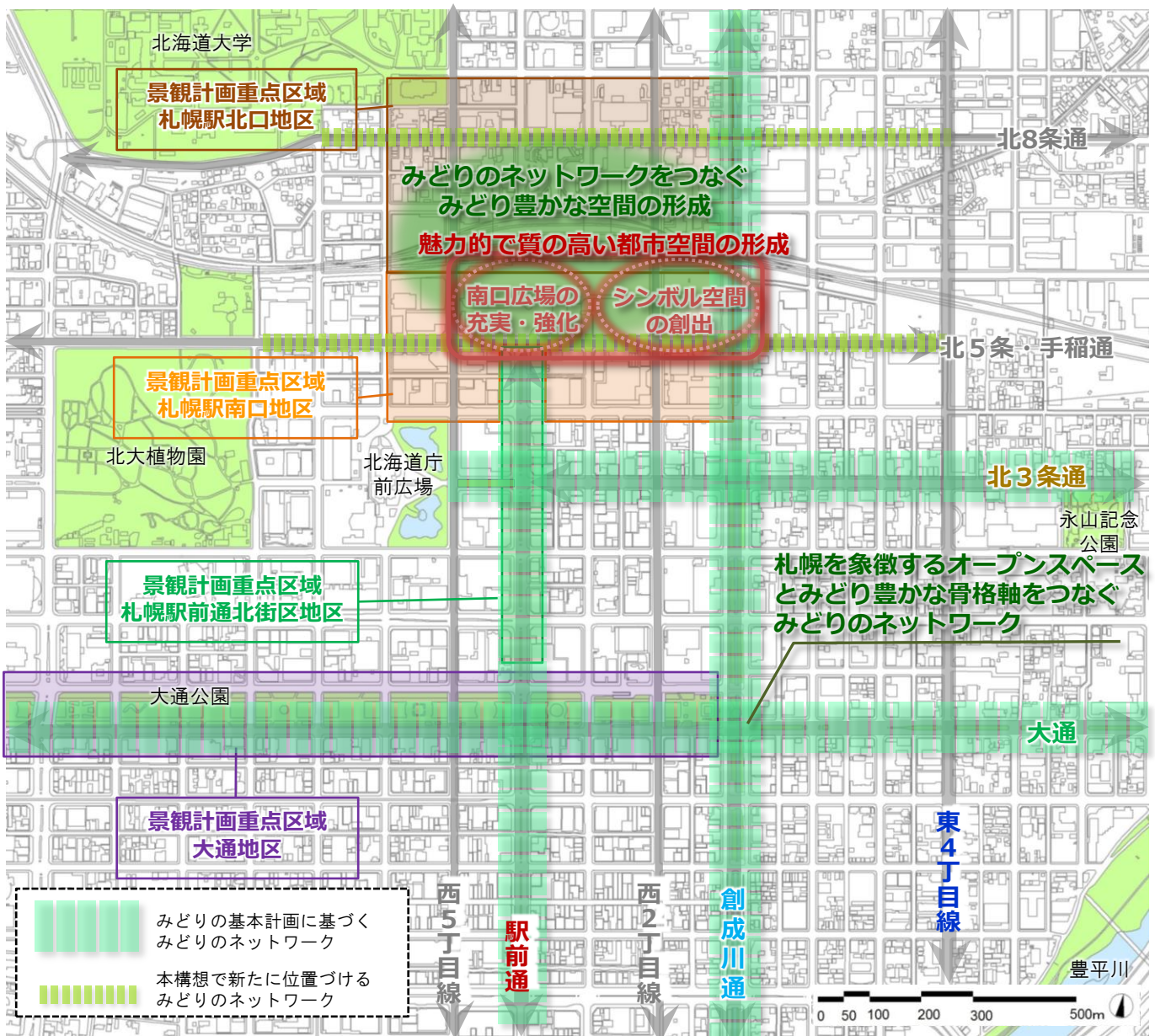
3-1 街並み形成の基本的な考え方

＜取組の目標＞

国際的な交流拠点にふさわしい札幌・北海道を象徴する街並み形成

札幌駅南口開発に伴い、人の広場の創出とそれを囲んで連続的な街並みを形成する建物の整備が行われ、市民のパブリックライフの場として活用されてきました。今後は、新幹線延伸や冬季オリンピック・パラリンピックの開催を見据え想定される、駅施設の改修や北5西1・北5西2街区の土地利用転換に伴い、「世界都市さっぽろ」の玄関口にふさわしい新たな顔づくりが求められます。

その際、活力やにぎわいのある街並み形成、北海道らしい自然を感じられる都市空間の創出、周辺の建物との調和、駅と街をつなぐにぎわいやみどりの連続に配慮し、先導街区全体で札幌・北海道を象徴する街並み形成を図ります。



<取組の方針>

方針1：南口街区全体での魅力的で質の高い都市空間の形成

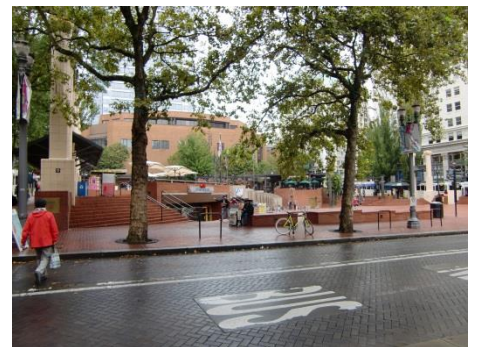
- 街区ごとに特色ある空間形成と、街区間の一体性やにぎわいの連続性の確保
- 都心のみどりのネットワークをつなぐ、みどり豊かな空間の形成
- 南口街区全体での建物壁面ラインの形成
- 北5条・手稲通沿道の街並みの連続と圧迫感の軽減



駅前に大規模な緑化空間を形成する広場
(品川 セントラルガーデン)

方針2：パブリックライフの起点となる南口広場の充実・強化

- 市民や来訪者の憩い、出会い、ふれあいを生み、パブリックライフの起点となる既存の南口広場における歩行者空間の確保、イベント空間等の充実
- 市民や来訪者が訪れた際に安心感や愛着が持たれる空間の形成
- 南口広場と呼応する、隣接街区での協調的な空間の形成



市民等のパブリックライフの起点となる広場
(ポートランド Pioneer Courthouse Square)

方針3：北5西1・北5西2街区の一体的な整備によるシンボル空間の創出

- 札幌の先進性、国際性、環境首都をアピールするこれまでにないシンボル空間の形成
- 南口広場と創成川をつなぐ連続したオープンスペースの創出
- 創成川通の水・みどりと調和し、札幌らしさが感じられる潤いある空間の形成
- 民間活力を活用したオープンスペース等の整備
- 市街地再開発事業などの活用による一体的な整備



水と緑と調和した潤いある空間
(那覇 さいおんスクエア)

方針4：四季折々のにぎわいが感じられるオープンスペースの形成

- 1年を通じて多様な活動が展開される空間の整備
- 四季の様子や、みどり、雪、赤レンガなど札幌らしさが感じられるオープンスペース・街路空間の形成
- 都心の街並み、緑化・水辺空間や都心を囲む山並みなど札幌らしい景観を眺望できるビューポイントの確保



1年を通してにぎわいある活動が展開されるオープンスペース

(富山グランドプラザ)

方針5：周辺建物を含めたにぎわいのある街並み形成

- 世界都市さっぽろの玄関口にふさわしい駅前の顔づくり
- 周辺建物の低層部におけるにぎわい機能、交流機能の配置による、人々の活動が表出する設えの形成
- 1年を通じてみどりが感じられる屋内空間づくり
- 札幌駅南口総合開発ビルの低層部デザインの踏襲や軒線・表情線※の連続性の確保による調和した街並みの形成



店舗等ににぎわいある顔で囲まれた広場
(ポズナン（ポーランド）Stary Rynek)

※表情線：建物のデザイン線・デザインの切り返し線など

方針6：拠点にふさわしい高次都市機能の集積と高層部の景観形成

- 地上部の連続的なオープンスペースの確保と拠点に求められる高次都市機能の集積に伴う土地の高度利用
- 札幌駅を中心とした札幌の活力と拠点性を象徴するランドマークの形成
- 高層部のセットバックに伴う基壇部の形成による、街並みの連続性の確保と圧迫感の軽減
- 隣棟間隔の確保による上空の開放感の創出



札幌のランドマークである札幌駅と上空の開放感

<整備・検討イメージ>

